

学外研修報告

－ 自由研削といし取替等作業特別教育受講報告 －

フィールド科学系部門 生物科学班 内田慎治

1. はじめに（目的等）

業務中の使用頻度は高くないが、グラインダーや切断機を用いた金属や木材の切断や加工を行うことがある。その際、グラインダーや切断機は高速で研削といしが回転し、作業者に労働災害の危険がある。より安全で適切な作業を行うために今回の特別教育を受講した。

2. 期間・場所

期間：平成 30 年 2 月 23 日

場所：コベルコ教習所広島教習センター（広島県広島市安佐南区大塚西 1-5-36）

3. 参加者等

約 30 名

4. 研修内容

- ・自由研削用研削盤、自由研削といし取付け具等に関する知識
- ・自由研削といしの取付け方法及び試運転の方法に関する知識
- ・関係法令
- ・実技（自由研削用といしの取付け方法及び試運転の方法）

5. まとめと感想

自由研削といしは、安全性に関してはどちらも速度や高精度化は日々進歩しているが、といしの周速度の高速化により、研削といしが破壊される危険性が増し、破片により重大な災害も引き起こす恐れある。金属や木材を加工する際、強い力がかかるためしっかりと保持することが重要である。また、材質や用途によってといしの種類を変える必要がある。使用者の安全を守るためにも、常日頃からの適正な整備や管理、試運転を行う事が最も重要であると感じた。今回の研修で学んだことを自分なりに注意点を整理しながら必要な技術等を確実に身につけていきたい。